



牧之原市お菓子引き換え券

市では、88歳（米寿）のお祝いとして「お菓子引き換え券」を配布しています。敬老の日に合わせて、令和3年9月1日現在で、本年度88歳を迎える人に、引き換え券を郵送します。引き換え券が届いた人は、券の裏面に記載のある店舗で、お菓子と引き換えてください。

米寿のお祝いお菓子券

シニアクラブ「相良あじさいの会」

「シニアクラブ」は、おおむね60歳以上の高齢者が地域で自主的に組織した団体で、仲間づくりを通して生きがいと健康づくり、社会活動などに取り組んでいます。

「相良あじさいの会」では、女性会員が中心となり、和踊りの活動を行っています。会員は、65歳から91歳の33人。コロナ禍の前は、産業祭や施設への慰問など市内外のイベントに引っ張りだこ。年間30回以上の出演を精力的にこなしていました。もちろん市のPRも忘れません！

会員は「一生の仲間ができた。みんなと会えることが楽しみ」「簡単な振り付けだから誰でも踊れる。生きがいを見つけたよ」と話し、月2回の活動をととても楽しみにしています。



「皆さんが生活する上で、最も大切にしているものは何ですか」

地域の活動の中には、お金では買えない大切なものがありました。人と人とのつながりによって生み出される笑顔、元気、より良い明日を迎えようとする健やかで前向きな気持ちがあふれていました。

皆さんの技術や経験、そして笑顔は、地域づくりの大きな力となっています。



利益のためではなく、地域のために何かをやりたいと思い友仁会に入った。



「仁田 友仁会」

「自分のできることを持ち寄れば、自分たちの住む地域の環境や安全を守り、安心した生活を送る手伝いができる！」—そんな思いの人たちが集まった「仁田 友仁会」は、平成22年に発足し、本年度11年目を迎えました。会員は60歳～78歳までの33人。草刈りや松明づくりのほか、町内会の行事へも積極的に参加し、地域交流、生きがいづくり、親睦を図ることなどを目的に活動しています。



活動を通して同年代のみんなと話ができるのも楽しみ。みんなの存在は家族以上に心強い。

友仁会は団結力がある。「やるか！」と言ったらこれだけの人が集まる。地域がきれいだと嬉しい。だから、その時やれる人が力を合わせてみんなでやる。



超高齢化社会の今、住み慣れた地域で健やかに暮らしていくために、さまざまな活動に取り組む高齢者の皆さんがいます。今回、地域の中で生きがいを持ち、自分らしく生き生きと輝いている皆さんに、お話を聞きました。

人生百年時代 いつまでも笑顔あふれる健やかな毎日を

9月20日は「敬老の日」です。敬老の日が国民の休日と定められてから本年度55年目になります。市内の100歳以上の人は、令和3年9月1日現在50人で、最高齢は109歳。長年にわたり、社会に貢献してこられた高齢者の皆さんに感謝と敬意を込めて、長寿をお祝いしましょう。

問い合わせ 長寿介護課 植田容子 ☎0074